場所・その他ありとあらゆるものが、大量に不足します。今までは、近隣市町村や外国から支援がきていますが、日本全土が震災している訳ですので、近隣市町村の支援は無理だということです。外国から支援となると、分配等の問題も含め、物資の届くのは十日も過ぎた後ということになります。

【人間は、一週間食べないと殆ど死んでしまいます。皆さんは耐えられますか？】

医療についても、大規模災害の時には、負傷の程度により、【トリアージタッグ】（四色に色分け）を付けられ、《黒＝助からないと診断され診てくれない》《赤＝重傷だが助かる見込みありと治療》《黄＝命に別条ない（たとえ両眼失明していても）ので治療なし》《緑＝軽症は当然治療なし》とされていて、赤のタッグのみ治療されることとなる。

【皆さん、もう一度想像してみて下さい。】

食糧もなく、治療もなく、身を寄せる所もない状態でどこまで耐えられるかを！。

もう一度不謹なことを言いますと、政府に近い人達は、『一番先に、食糧が手に入る』ということです。

【前員までを考え合わせると、自分の身は自分で守る】の一言につきます。

自分で準備できることは、怠り無くする。【誰も助けてくれない！と思うこと】です。

【以下は、私ガ二十年間どうしたら良いかと考えた方法です】

私には、力（資金力）がなく、皆様のお手元に【助かる方法】をお届けすることができませんので、【特許】申請をし、力ある人に製作し、発表し、皆様に届くよう頑張って欲しいと思います。

⑧ 秒の世界で助かること！

防災（軽減）上着 《刃物を通さない布を使って》

◇タワービルの恐怖

☆ 平成1年3月28日（午前10時53分）に起こった、五井高井地震は、梅岡にも M6 弱として伝わった。この地震は今後10年以内に50％の確立で来るといわれる。都市型下町地震の模型（参考）となるもので、特に、梅岡のあるタワービルでは窓ガラスでは400枚が割れ落ちた。このガラスの落下速度は、時速40km～60kmといわれ。主然技能の関係上先の尖った力を下にして落ちて来る。これは、アスファルトに突き刺さる威力があり、瞬間でも死者を出している。

☆タワービルの窓ガラスは、ハーメチックになっており、パテの硬化により振動がガラスに直接伝わり、普通の窓ガラスのように、サッシュが振動の干渉の無い状態であるからで、1976年の建築法改正により、パテは充填剤の使用となっているが、あくまで法律上は最低ラインの安全に対する規制である。（ということを考慮しなければならない）

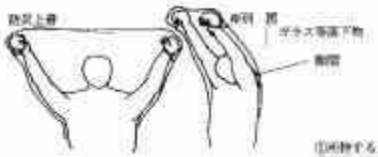
《刃物を通さない布を使って》

◇最近、刃物を通さない布が開発されている。この布を使って以下のような物が考えられる。

〖防災上着〗

◇ この布を上着の裏地（サンドイッチでもよい）に使用する。⇒ 災害が起こった場合下図のように、上着の襟を掴み、パンザイする。（2秒程度でできる）

【上着使用の様子】



【防災ベスト】 ☆ベストであれば、

②使用は襟＝上着又はベストを頭と上げた時、襟を下げ、頭部と肩部に隙間があるように。
（差し上げた両手はあまり長く差し出さない。半袖図）

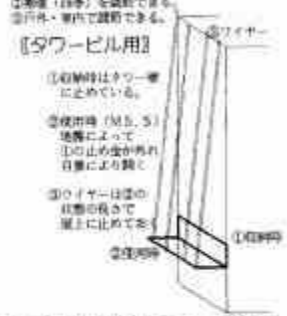
〖防災安寧帽〗

☆上記の布様で傘を作る。
②使用法襟＝落下物があるときは、傘を少し傾すとよい。

〖安全地帯〗

①所持する上着全てにつけなくてもよい。
②期間（時季）を調節できる。
③戸外・室内で調節できる。

〖タワービル用〗



①収納時はタワー壁に止めている。
②使用時（M5.5）地震によって
①の止め金が外れ自重により落ち
③ワイヤーは壁の仕掛の長さで屋上に止めておく。

※ 上着・ベスト・傘は1万円程度、安全地帯は3千円程度と考えると、安全地帯がガー着頒布される。最近はキレ易い青少年や変な大人が刃物を持ち歩き、この事件・事故も多い。これらに対する抑止手段としても利用できると思う。これらを考慮すると、市場規模は1000億円と見込まれる。